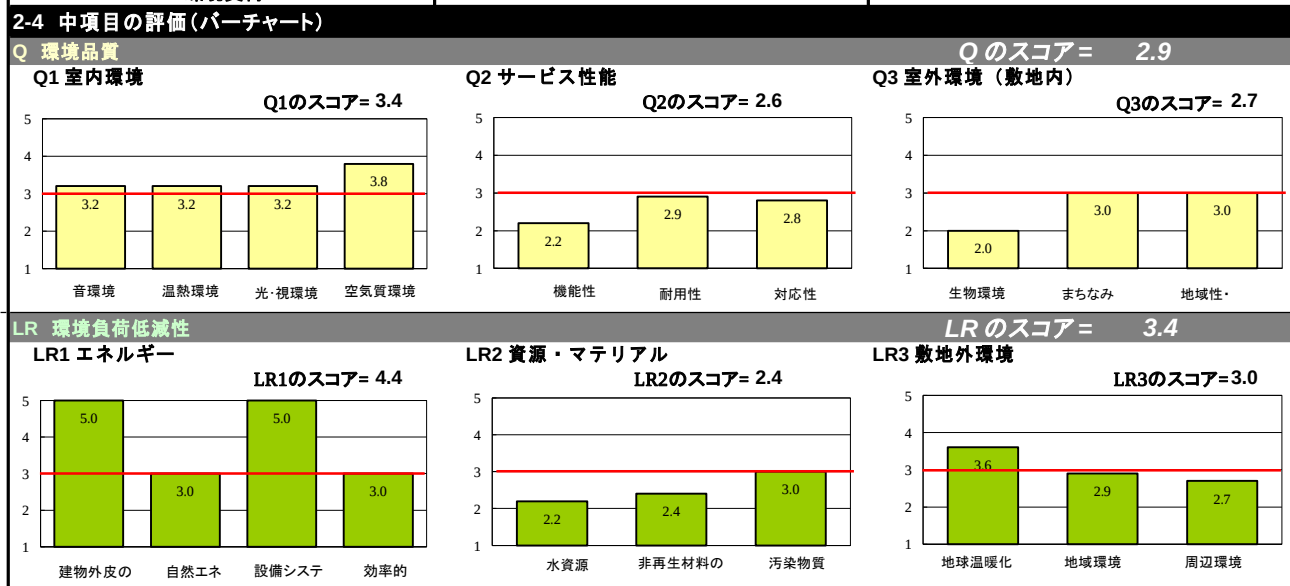
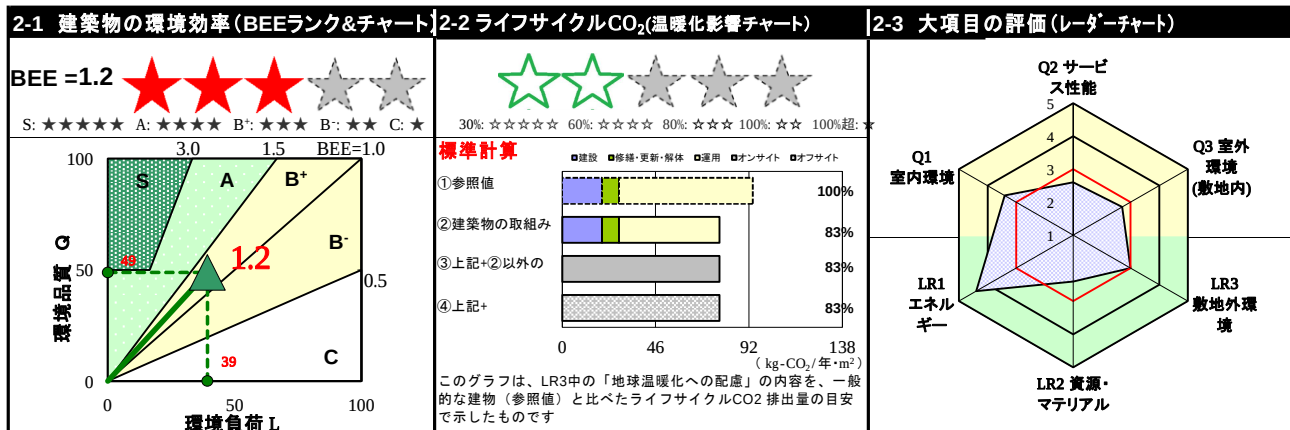


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)守口市寺内町2丁目計画	階数		
建設地	大阪府守口市寺内町	構造		
用途地域	市街化区域、商業地域、下水道処理	平均居住人員		
地域区分	6地域	年間使用時間		
建物用途	集合住宅	評価の段階		
竣工年	2027年9月 予定	評価の実施日		
敷地面積	880 m ²	作成者		
建築面積	410 m ²	確認日		
延床面積	4,014 m ²	確認者		



3 設計上の配慮事項		
総合 断熱等性能等級で等級4以上の取得など行い、付加価値を設けた。		その他 特に無し
Q1 室内環境 特に無し	Q2 サービス性能 給排水配管の主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用とした。	Q3 室外環境(敷地内) 特に無し
LR1 エネルギー 断熱等性能等級で等級4以上を取得予定であり、高い断熱性能のある建築材を採用し建物の熱負荷抑制に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 特に無し	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑制し、地球温暖化への配慮を行った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		(仮称)守口市寺内町2丁目計画							
建設地		大阪府守口市寺内町							
用途／区分		集合住宅							
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+		
①	CO2削減						4		
②	みどり・ヒート アイランド対策						3		
③	断熱性能						5		
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分					5		
④	エネルギー消費性能						5		
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分					4		
		非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分	評価対象外				評価対象外		
⑤	自然エネルギー直接利用						○		
	再生可能エネルギー	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—		—
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—
	エネルギー消費量の報告							対象外	
【評価項目】									
項目		評価内容					スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					3.6	4	
② みどり・ヒートアイランド対策									
生物環境の保全と創出		CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出					2.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上					3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE LR3 敷地外環 2. 2 温熱環境悪化の改善					3.0		
③ 断熱性能		CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制					5.0	5	
④ エネルギー消費性能		CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化					5.0	5	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用					3.0	○	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	-	
その他									
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項				
特に配慮した事項									